

珪素による健康革命

—間崎靖男レポート—

日本国憲法第二十五条「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」

では現実はどうなのでしょう。

日本の国民医療費は2015年で42.8兆円、2020年予想は48.8兆円となっています。国民医療費の増加率は年率1.3%でGDP(国民総生産)の伸びをはるかにしのいでいます。今後の医療の行く末は明らかです。また平均寿命は伸びているとはいえ健康寿命より、女性で8年以上、男性で13年以上長いのです。

長生きしても寝たきり、そして終末医療費の負担にあえぐことになっています。つまり長生きさせて病院に収容して高額医療費で太っていくのが医療機関(病院)です。

これが『健康で文化的な最低限度の生活』の実態なのです。この主要な原因の一つに日本人の食生活の中でミネラル、特に珪素の不足によることだと、わかってきています。

珪素は、骨や歯、爪、血管などの硬い丈夫な組織に多く存在し、身体の構造の安定を保つのに重要な役割を果たしています。必須微量元素としての珪素はまた各種栄養素や伝達物質の働き、すなわち人体内の代謝反応のバランス維持に深く関与しています。この重要な珪素は高齢化とともに減少し、老化を進めていきます。

医療先進国のドイツでは、健康・美容のために珪素不足の解消が不可欠と認識され、珪素は、人間の体内で作り出すことができないため、サプリメントで補っているのですが、ドイツでは、常備薬的な使い方をされており、10年以上サプリメント部門ではトップとなっています。

日本は珪素摂取後進国です。環境破壊と汚染、肥料や農薬の使用、食品の加工などにより珪素などの必須ミネラルは急激に減少しています。今やケイ素を中心とするミネラルを摂取するような食文化の組織的な働きかけを進めて行く必要があります。

私たちがすすめる水溶性ケイ素の製法特許(10-1363773)文献では明確に次のように記述してあります。

「この発明は人体の新陳代謝を活性化させるために提供され、疾病予防機能のある珪素組成物を含む食品添加溶液の製造方法に関するものである」

私たちが提供する水溶性珪素を健康維持のため毎日飲用して、健康で豊かな人生を取り戻し、『生涯現役』を実現しましょう。

ケイ素についての情報を付記しておきます。

2017年11月10日、特開2016-84312 「ケイ素を有効成分とする抗がん剤」

特許取得!! 特許権者：株式会社グローバルハート

2018年2月11日